

編集後記

道建協とうほく No. 47 担当

小野 裕 幸 ((株)NIPPO 東北支店)

宮 本 憲 治 (日本道路(株) 東北支店)

東日本大震災で被災されました方々には、心からお見舞い申し上げます。
平成23年度最後の（No. 47号道建協とうほく）発刊となります。
寄稿いただきました皆さま、ご協力誠にありがとうございます。

今回の編集担当は、私と宮本氏です。宮本氏とはなぜか馬が合います。
馬が合うのはいくつかの共通点があるからだとは思っています。
年齢が同じであること、生まれ育った環境が東松島市と石巻市と場所は違いますが
小さな漁村であったこと（東日本大震災では、ともに実家が津波で全壊）
また、高校時代にはオートバイで通学していたことなどです。
お酒を飲んだときなど、昔話などで盛り上がってしまいます。
趣味にも共通点が多く、昨年秋には、共通の趣味である鉄馬（オートバイ）にまた
がり、銀山温泉と世界遺産の中尊寺と駆け回ってきました。
今後、被災地の早期復興が進み、鉄馬で駆け回る日を心待ちにしています。

がんばろう！東北



鉄馬にまたがる宮本氏



毛越寺駐車場にて(左端が筆者の鉄馬)